

インターネット放送による 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

2・3月開催予定の講座案内



168回 題名 **1000年前のドレミの歌、音楽と宇宙を貫く調和(ハルモニア)の原理**

日時 平成30年2月8日(木) 14:30から約1時間
講師 藤田 浩 氏(宗教音楽研究者)

内容 あ、「ドレミの歌」には、1000年前に作られた元歌がありました。元歌が生まれた中世の音楽理論を紐解くと、人間は古代から近代にいたるまで、「調和(ハルモニア)」の原理により、音楽と宇宙の仕組みをとらえていたことがわかります。本講座では、この「調和」の原理の歴史を、音楽史の観点から振り返ります。

169回 題名 外航商船の元船長が話す商船と日本船員・海運の現状

日時 平成30年3月8日(木) 14:30から約1時間 講師 高橋 二郎 氏(元外航航路船長、海事補佐人)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について
多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。
問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)

特定非営利活動法人 **東京雑学大学** 平成30年3月講義案内
(受講料は会員無料・会員外は3月8日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1123回	3月1日(木) 14:00から	文学にみる“労働”の諸相	大和田 茂 氏 (法政大学、城西大学講師)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1124回 ※	3月8日(木) 14:30から	外航商船の元船長が話す商船と日本船員・海運の現状	高橋 二郎 氏 (元外航航路船長、海事補佐人)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1125回	3月15日(木) 14:00から	自分でできる健康長寿実践法	田口 誠弘 氏 (健康長寿現役実践の会代表、実践家、講師)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第1126回	3月22日(木) 14:00から	よみがえれ! 武蔵野の雑木林	田中 雅文 氏 (日本女子大学教授、武蔵野の森を育てる会代表)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。
※第1124回は、第169回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。
問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

第6回TOKYOシャンソンフェスティバル

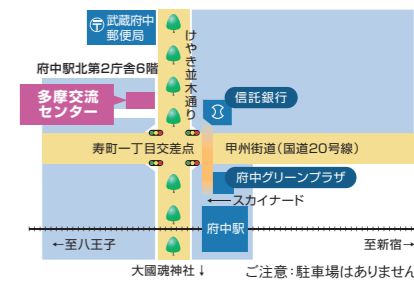
日時 平成30年3月20日(火) 開演13:00
3月21日(水・祝) 昼の部・開演13:00 夜の部・開演17:00
場所 府中グリーンプラザ・けやきホール(京王線府中駅下車 徒歩1分)
内容 大人の感情にしみじみと寄り添う「シャンソンの祭典」。3月20日(火)は、シャンソンを愛好する公募出演者によるシャンソンコンサート。バンド伴奏で会場の皆様と一緒に歌うコーナーもあります。21日(水・祝)は若林ケン氏、岸本悟明氏他シャンソン歌手15名が出演し、シャンソンの神髄を歌い上げます。随所に挿入される朗読と、シャンソンとのコラボレーションをお楽しみください。2日間にわたり、シャンソンを堪能してください。
入場料 2,500円(2日間通し券)
主催 TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会(TCF)
問合せ TCF事務局 TEL 090-9643-6030(後藤)



会議室利用登録団体の方へ 手続きのお願い

多摩交流センターの会議室利用登録団体の登録期限は、登録または更新してから3年度目の3月31日です。登録の更新を希望する場合、所定の書類を提出していただいております。該当する団体へ通知しますので、期限内に必ず手続きをお済ませください。また、貸出用ロッカー・棚についても利用期間が満了となります。こちらについても申込書を各団体に送付しますので、利用を希望する団体は必ず手続きをお願いします。なお、利用希望の団体がロッカー・棚の数を超えた場合は抽選で利用団体を決定します。

「多摩交流センターだより」の問合せ先
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)
☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 2月に入りました。4日は立春、暦の上では春となり、日照時間も長くなってきましたが、まだまだ寒い日が続きます。
- とところで、当調査会が実施団体の一つとして参加している、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、都内各市区町村の温室効果ガスの排出量(推計値)について、毎年、特別区、多摩地域、島しょ地域に分けて算定を行い、その結果を各自自治体にお知らせしています。
- 大気中の温室効果ガスが増えすぎると、地球温暖化が進み、台風・集中豪雨の頻発、熱中症・感染症の増加など人々の暮らしに悪影響を及ぼします。各自自治体では、算定結果を踏まえ、温室効果ガスの削減等に向けて様々な取組を行っています。
- 算定対象の温室効果ガスは、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)など7種類からなりますが、これらを多摩地域の直近の算定結果で見た場合、CO₂が全体の約94%を占めています。
また、この地域のCO₂の発生源としては、電力と都市ガスで約75%を占めています。これは、電力や都市ガスの供給のために、主に石油・石炭や液化天然ガスなど、化石燃料が使われていることによるものです。
- このことから、電力や都市ガスを使えば使うほど、CO₂を始めとする温室効果ガスの排出量が増大することがうかがえます。したがって、自宅や職場で、電気やガスの使用を減らしたり、家

電製品・生活用品などを効率的に利用することにより、CO₂の排出量を抑制することができます。また、水道水の使用を減らすことは、浄水処理や下水道処理に必要な電力が減ることになるので、CO₂の排出量抑制につながります。

○ とても寒い日に、エアコンやストーブなど暖房の使用を控えると、体調を崩し、健康面に大きな影響を与えるなどマイナス面の方が大きいので、無理をする必要はありませんが、ちょっとした工夫でCO₂の発生を抑えることができます。

○ 具体的な例としては、①厚手のカーテンを使用するなど窓から熱を逃さない工夫をする、②ガスストーブやガスファンヒーターは窓に近い場所に置く、③電気カーペットやコタツの下に断熱マットを敷く、④冷蔵庫の庫内温度を冬季は「弱」にする、⑤テレビなど家電製品を使わないときはこまめに消す、⑥シャワーをこまめに止め、使う時間を減らす、などです。このような取組により、快適さを維持しながらもCO₂に代表される温室効果ガスの排出抑制を図ることができます。また、光熱水費の節減にもつながるなど、経済的効果も得られます。

さらに、就寝時間を早め、普段より1時間早く消灯するなどの取組は節電の効果のほか、健康面にも良い効果をもたらします。

身近にできることから、早速取り組んでみてください。(S.K)